

毎日をあんぜんにすごすために ~普段から、気を付けておきたいこと~

1 下校中に、知らない人から声をかけられたら…。

いわゆる声かけ事案です。知らない人に声をかけられたときの対応について、必要な知識と行動の仕方を身に付けさせてください。

※子供を誘う手口は、いろいろあります。

- ・子供の好きなもので誘う（動物・新しいゲーム等）
- ・助けを求める（道を尋ねる）
- ・緊急事態を装う（家族の事故を装い病院へ等）
- ・大人の世界へ誘惑する。（モデル・タレント、写真を撮らせて）

Q：知らない人に動物を見せてあげると声をかけられたらどうしよう？

望ましい答え

- ③知らない人にはついていかない。
- ④近くの大人に、声をかけられたことを伝える。

2 友達の家遊びに行くときは…。

外出時の約束について、ご家族でよく話し合い、お子様がだまって出かけることのないように十分指導してください。ご家族の実情に応じた連絡方法を確認しておいてください。

※どうしても連絡が取れない場合は、メモで伝えるなど、事前に連絡方法の約束をしておくことが大切です。

Q：外に出かけるときはどうしよう？

望ましい答え

- ①家の人について、出かける。
- ③家の人がいないので、出かけない。
- ④家の人がいないので、どこに行くのか、メモに書いて出かける。

3 公園で遊んでいるときに…。

一人で行動すると様々な危険なことに巻き込まれる可能性が高くなります。「いざ」というときに助けを呼ぶこともできません。防犯を常に意識して行動できるよう指導してください。また、様々な状況と対応の方法について話し合いを深めてください。

Q：一人にならないように、どんなところに気をつける？

望ましい答え

- ①みんなといっしょにかえる。

4 車に乗っている人から、声をかけられたら…。

車に連れ込まれそうになる事案が発生しています。大型ワンボックスカーのスライド式ドアだと、容易に中に連れ込まれ、大変危険です。道を聞かれるなどのことがあっても、絶対に車に近づくことがないように注意することが大切です。

Q：車から声をかけられたらどうしよう？

望ましい答え

- ①すぐに車からはなれる。

5 知らない人に、連れて行かれそうになったら…。

気を付けていても、こわい目にあうことがあります。危険場面での行動の仕方について普段から考えておくことが危険回避能力を高めることになります。防犯ブザーは、時々鳴らして音が出ることを確認してください。

いざというときすぐ使えるよう、スカートやズボンのつりひも、ランドセルなどの手の届く位置につけておくようにしましょう。また、外出時には、防犯ブザー代わるホイッスルなども効果的です。



Q：こわい思いをしたときはどうしよう？

望ましい答え

- ①すぐに走ってにげる。
- ②大声を出して、助けを求める。
- ④近くのお店や家ににげこむ。
- ⑤防犯ブザーやホイッスルをならす。

6 家で、るすばんをしていると・・・

宅配便を装った事件があります。安易に鍵を開けないように指導してください。

低学年は、特に留守の対応が難しい場合が多いので、家庭でどう対応するのか決めておくことも大切です。

Q: 玄関のチャイムが鳴ったらどうしよう？

望ましい答え

① 鍵をあけない。

◎こんなこと、知っていますか・・・

「いざ」というときのことを考えて、防犯の視点から地域の「こども 110 番 青少年を守る店・守る家」等を確認しておきましょう。

★地域や学校などで行っている防犯活動の具体的内容を、よく知って活用することが安全確保に役立ちます。お子様と一緒に調べ、確実に内容を把握してください。

★近所の方や地域で活動されている方々とお子様や保護者が「知り合い」「顔見知り」になることが子供の安全を守るために必要です。あいさつの励行なども指導してください。

★学校や地域から必要な情報を得るようにしましょう。また、買い物にでかけたときなど、地域を歩いて実際に場所を確認しましょう。

★「いかのおすし」に代表される防犯標語は、犯罪に巻き込まれないための注意事項や不審な声かけからの対処方法を子供になじみやすい形でまとめたものです。子供が標語を覚えることにより、子供自身に「自分のことは自分で守る」ことを認識させ、防犯意識を高める目的があります。

◆みんなを守ってくれる家や店や交番などがあります。家の近くのどこにあるか、知っているかな？

◆単に「知らない人」といっても子供は区別できません。

「知らない人をはっきりと定義付けすることが大切！

- ・子供自身が名前を知らない人
- ・その人のことをよく知らない人
- ・おうちの人知らない人

- ① 知らない ② 知らない ③ お声でたすけをよぶ ④ ぐににげる ⑤ 知らせる

「いかのおすし」の場合、「い」「か」は、「ついていかない」、「どんな時？→下校時」「誰に？→知らない人に」など、日常の行動の中にあてはめながら覚えるようにすることが大切です。他にも、「いいゆだな」などの標語があります。日頃から確かめるようにしてください。



<警視庁HP資料参照>

★「いいゆだな」の意味



- ① えのかぎをみせない・・・ひもでぶら下げた鍵をランドセルの横や服の上から見えるようにしない
- ② えのまわりをよく見る・・・不審者がついてきていないか、確かめる。(エレベータを利用する児童※)
- ③ うびんポストをチェック・・・郵便受けに新聞や手紙がたまっていると、留守がちな家だとおもわれることがある。
- ④ だれもいなくても「ただいま」・・・不審者に家にだれかいると思わせる
- ⑤ かにはいったら、すぐとじまり・・・鍵を開けたときに不審者に中に入られないように気をつける

- ※ エレベーターホール等に見かけない人がいないか周囲を確認する。
- ※ 不審者を発見した時は、管理人や管理組合の人に知らせる。
- ※ エレベーターは、非常ベルや各階のボタンを押せる位置に乗る。
- ※ 後ろから襲われないように壁を背にして乗る。
- ※ 知らない人と二人だけで乗ったときは、直近の階でエレベーターを降りる。